

清泉女学院の授業開放講座

清泉女学院の教育・研究を広く地域に開放するためのひとつとして、本学の学生向けに開設している正規授業（9月より1月までの間に1授業につき15回実施します）を一般の方に開放しています。
年齢・性別にかかわらず清泉女学院大学・短期大学のキャンパスでどなたでも受講できます（ただし、原則再受講は認めません）。

受講料 **1講座10,000円**

	授業名	担当者	曜日	初回授業日	時間	内容
語 学 分 野	英語文学	村田信行	月	9月16日	9:00～10:30	18世紀から現代まで、イギリス、アメリカ他の地域において英語で書かれた文学を、特に人々の社会生活との関係に注目しながら、小説を中心に概観する。各回1人が数人の代表的作家を取り上げ、それぞれの時代について学習する。授業は講義が中心だが、代表的短編を毎回翻訳で読んだり、一部を原文で読んだり、テーマやトピックを決めて短い発表やディスカッションをするなど、現代にもつながる普遍的テーマについて考える。実際に約20本の短編鑑賞を目標とし、英語が使われている国・地域の文化への理解を高めつつ、文学作品に使用されている英語表現にも多く触れたい。あわせて、文字媒体の魅力を再認識したい。
	日本文化研究	村田信行	月	9月16日	10:40～12:10	衣食住をはじめ、習い事から宗教、現代的テクノロジーやアニメまで、幅広く日本人の日常生活の諸相を見つめる。随所に発見できる日本文化の特質やその文化的背景を探りながら、現代日本の社会と文化を見直す。各回とも英文テキストを活用し、外国人へ英語で説明できることを想定して学習を進める。日本文化について考えることは、自らを見つめることでもあります。予習の範囲は十分目を通し、まずは心を開いて日本文化に向き合い、予見にとらわれず様々なことについて考えてみましょう。
	英文法	室井美稚子	木	9月19日	14:35～16:05	英文法の苦手意識を乗り越え、有用観を高めるためにコミュニカティブな表現を用いたテキストを習得する。WORKBOOKだけでなく、自らの英作文を通して書く文法事項に精通する。
	異文化理解	室井美稚子	金	9月20日	12:55～14:25	異文化間理解の知見を得るための英文を読みこみ、内容理解と共に、高度な英文読解能力を身につける。また、異文化理解の各テーマについてディスカッションを行い理解を深める。
	英語学概論	中村洋一	金	9月20日	10:40～12:10	英語史、形態論、意味論、統語論、語用論、社会言語学、言語政策の分野における英語の基本的な特徴を理解する。英語に焦点を当てるが、「ことば」全般について、ことばの仕組みや変化など、身近にあるものを例にとりながら学ぶ。毎週の課題として予習プリントを用いて事前学習を行う。授業中には、グループによるディスカッションや、グループ内での発表を通してより理解を深め、それをまとめて最終課題を提出する。
	英語基礎Ⅱ	田村亮子	火	9月24日	9:00～10:30	「英語が苦手、しかし、可能ならば、できるようにになりたい」と希望する方のための、英文法と英文講読力の「たてなおし」を目的とした授業である。画像、動画、ネット等の学習システムを駆使して、断片的な文法理解を脱して、英文法の全体像の把握を確かにし、その英文法理解に基づいて、英語検定2級以上の文獻講読力と作文力を養うことをめざす。 注意：英語基礎Ⅰを学んだ方限定とします。
心 理 学 分 野	心理学概論	田村俊輔	月	9月16日	9:00～10:30	わたし達の行動とともに精神活動「知・情・意」に対して心理学が行ってきた探求・研究を概観しながら、主に「情(感情)・意(意思)」に焦点をあてた心理学の歴史的潮流をたどります。具体的には、心理学の歴史が始まったとされるヴントの心理学から、人間の無意識に焦点を当てた精神分析を経て、現在パーソナリティ心理学と総称される心理学の流れを学びます。
	家族心理学	生井裕子	水	9月18日	10:40～12:10	家族心理学とは、システム論に準拠して家族を捉える学問である。すなわち、家族を一つのシステムとして捉え、家族内外の様々なシステムとの関係から、家族を理解しようとするものである。この授業では、家族の関係性について、家族システム論の観点から理解を深めていく。また、家族のライフサイクルにおいて、家族システムが変化する時には危機が生じやすいことを理解し、家族を支援するという観点から家族療法の理論や技法を学ぶ。家族システムを理解するための補助として、ジェノグラムの書き方を身につける。
教 養 分 野	キリスト教概論a	田村亮子	月	9月16日	10:40～12:10	宗教とは我々の人生にどのように関わっているのか。その中でも、キリスト教が伝えようとする中心メッセージはどのようなものか。「人間の苦悩に意味はあるのか」「神の愛と人間の愛はどのように異なるのか」「クリスマス:イエスが歴史に登場した意味は何か」「日常に見られるキリスト教文化の様々な意味」等を取り扱う。
	キリスト教と世界の文化	田村亮子	水	9月18日	9:00～10:30	現代社会の成り立ちの基礎の一翼を担う西欧文化を理解するためにはキリスト教が文化に与えた影響について学ぶことが欠かせない。キリスト教が世界へと広がる流れと共に、宗教の観点から見た「西・東欧史」を軸に、芸術(絵画、音楽)、映像を使いながら様々な文化を理解する。「日」曜日の名前の由来は?あの名画の裏にあるストーリーは?「目からウロコ」はどこから来た言葉?トランプの王様のモデルは?運動会の表彰式の音楽は何に由来している?日常生活において当然のこととして受けとめている様々な物事の奥に潜むキリスト教(と他の宗教)の驚くべきルーツに触れ、宗教と文化の関連の深さを理解することをめざす。
	モダン・サイエンス	片瀬拓弥	水	9月18日	9:00～10:30	誰もが「自分自身や自分達が生きている世界のこともっと知りたい」という欲求を持っている。かつて、画家のゴッガンが問うた「我々はどこから来たのか、我々は名者か、我々はどこへ行くのか」という人生の三大疑問を科学的に探求する授業である。科学史をビッグヒストリー(宇宙史、地球史、生命史、人類史、最先端科学)を通して学び、さらに科学と聖書との接点を認識する。このビッグヒストリーは、宇宙誕生(ビッグバン)から現在までの歴史を科学的に探究する新しい学問分野である。科学一般が苦手な方でも、講義内容に興味を持てる内容となっている。

都合により、授業開催日が変更となったり、休講・不開講となる場合がございます。